



奉行通信



第31期 第2四半期ご報告

平成21年4月1日～平成21年9月30日



株式
会社

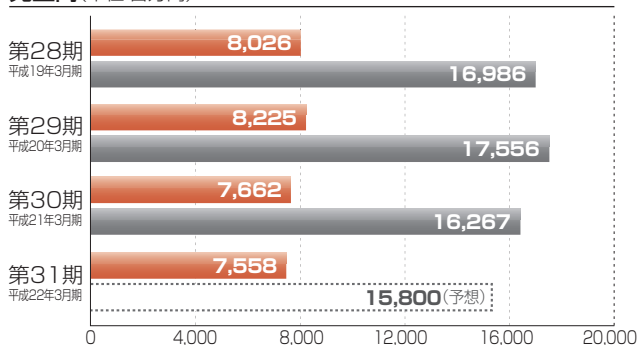
オービックビジネスコンサルタント

証券コード:4733

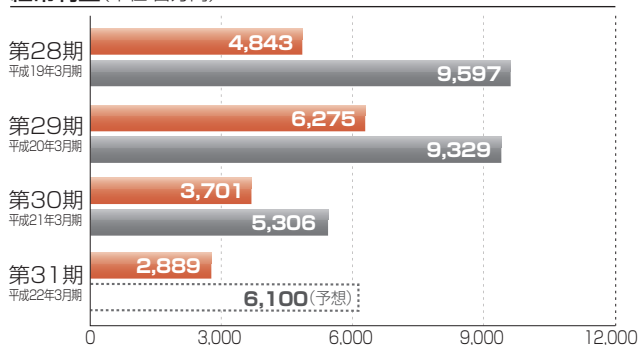


■ 第2四半期(累計) ■ 期末

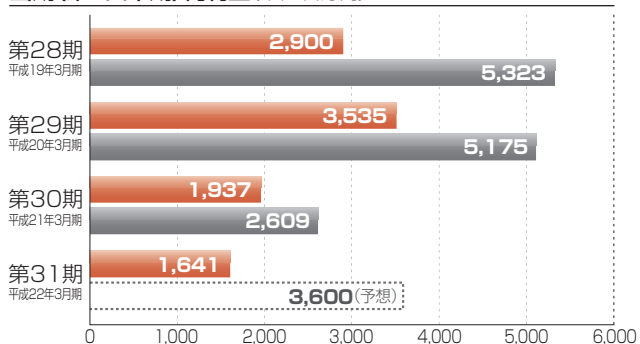
売上高(単位:百万円)



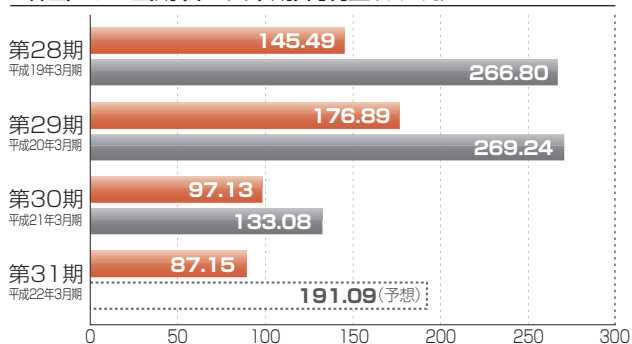
経常利益(単位:百万円)



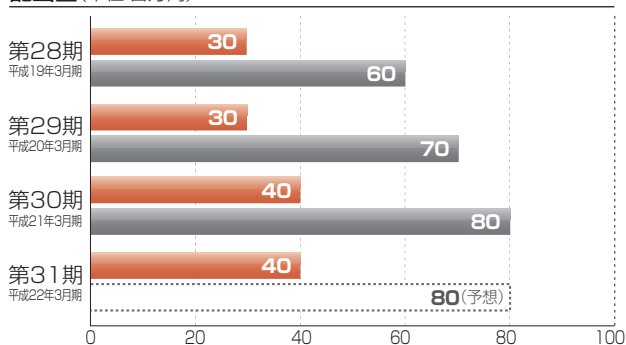
当期(第2四半期)純利益(単位:百万円)



1株当たりの当期(第2四半期)純利益(単位:円)



配当金(単位:百万円)



将来の見通しについての注意事項

この冊子に記載されているOBCの現在の計画、戦略、確信、自負などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られたOBCの経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。



経営管理に役立つ
付加価値の高い製品の提案と
アライアンス強化・コスト削減で
増益をめざします。

当第2四半期を振り返って

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当第2四半期の日本経済は、米国の金融危機に端を発した世界的な景気後退によって多くの企業で業績が悪化し、極めて厳しい状況で推移しました。当社の属する情報サービス産業も例外ではなく、お客様の投資抑制の影響を受けて厳しい経営環境が続きました。

こうしたなか、当社は、ソリューション部門において昨年秋にバージョンアップした中小企業向け製品「奉行21 Ver.5シリーズ」、主力製品「奉行V ERPシリーズ」を積極的に提案するとともに、2009年9月下旬には、中小企業向け基幹業務パッケージ製品のシリーズ「奉行iシリーズ」を投入するなど、製品開発と販売体制の強化に力を入れてきました。

その結果、同部門は売上を伸ばすことができたものの、関連製品部門とサービス部門については奉行連動ソリューション



代表取締役社長
和田 成史

やサプライ製品の売上が落ち込み、全体としての売上高は75億58百万円と前年同期比1.4%減少しました。

一方、利益面では、不採算案件の見直しや昨年からの取り組み課題に掲げていた研究開発費や販売費、広告宣伝費などの営業関連コストの削減を進め、収益率を大幅に改善した結果、営業利益は26億35百万円と同51.4%増加しました。

しかし、投資有価証券売却益などの営業外収益が減少したことから、経常利益は同21.9%減の28億89百万円、四半期純利益は同15.3%減の16億41百万円と、いずれも減益となりました。

通期の見通しと戦略

今後も、経済の先行き不透明感から厳しい経営環境が続くものとみられますが、当社は強みである中小企業向け製品に経営資源を集中し、着実な利益の拡大をめざします。

その柱として今注力しているのが、インターネット技術を活用し、最新OSのWindows 7にも対応した「奉行iシリーズ」です。



経営管理に役立つ情報を抽出する機能を強化するなど企業経営者を支援する機能ももれなく搭載しており、お客様に必ず満足していただける製品であると考えています。

同シリーズの販売にあたっては、全国各地で販売パートナー様を対象に新製品発表会を開催し、当社の販売支援体制や販売パートナー様のビジネスの活性化につながる販売モデルを紹介するなど、パートナーシップの強化による販売促進施策も実施しました。

これからも当社は、この新製品をはじめ、既存製品の「奉行21 Ver.5シリーズ」「奉行V ERPシリーズ」、企業規模やさまざまなビジネス環境にマッチした奉行連動ソリューション、業種別テンプレートなど最新テクノロジーを活用した付加価値の高い製品を広く提案し、新規のお客様の開拓や需要の掘り起こしを図っていきます。また、新たな製品やサービスの開発強化に向けて、IT関連企業とのアライアンスを強化するほか、コンサルティングを核とした販売強化をめざして合併での新会社設立も計画しています。あわせて、研究開発費や販売費などのコストを削減する努力も引き続き推し進めていきます。

通期の業績につきましては、売上高158億円(前期比2.9%減)、営業利益55億円(同20.7%増)、経常利益61億円(同15.0%増)、当期純利益36億円(同38.0%増)を予想しています。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

ソリューション(パッケージソフト)

事業内容

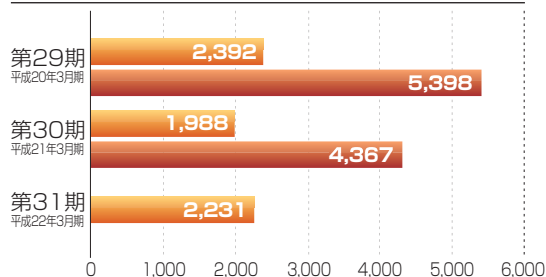
ITを活用した業務効率向上をめざす中堅・中小規模の企業に対するソリューション(=課題解決策)として、「奉行シリーズ」をご提供します。企業規模やニーズに応じて豊富なラインナップを用意しており、お客様ごとに最適な形でご提供しています。当社のパッケージソフトは、販売パートナー、開発パートナーを通じてお客様に供給されており、これらパートナー様との強固な連携が、当社の競争力のひとつとなっています。

当第2四半期累計期間の業績

当第2四半期累計期間のソリューション部門は、オプションコンポーネントの売上が横ばいでしたが、2008年10月に発売したバージョンアップ製品「奉行21 Ver.5シリーズ」の販売が好調だったことに加え、「奉行V ERPシリーズ」も前年同期比37.5%増の3億62百万円の売上を計上しました。

この結果、売上高は前年同期比12.2%増加して22億31百万円となりました。

売上高推移(単位:百万円) 第2四半期 通期





関連製品(連携製品/伝票・帳簿類)

事業内容

奉行シリーズの拡張性をいかして、お客様の業務・業種にあわせたさまざまな連携製品を提供しています。これらの売上も当社の重要な収益源です。

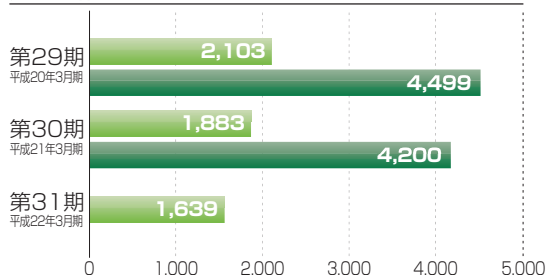
また、「奉行シリーズ」専用の仕様となっている伝票・帳票などの「奉行サプライ」や、タイムレコーダーなど関連製品の提供も、当部門の売上に含まれています。

当第2四半期累計期間の業績

当第2四半期累計期間の関連製品部門は、サプライ製品の売上が前年同期比1億7百万円減少しました。また「奉行シリーズ」連動製品の売上も同90百万円減少し、さらにカスタマイズ収入も同85百万円減少しました。

このため、売上高は前年同期比13.0%減少し16億39百万円となりました。

売上高推移(単位:百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



サービス(ユーザーサポート)

事業内容

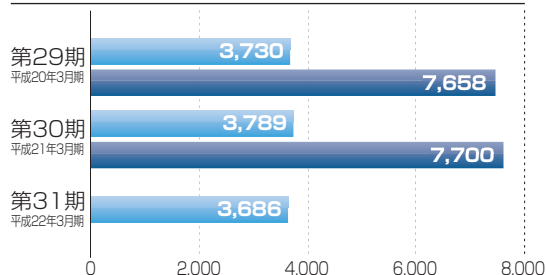
当社はスクールや訪問指導といったシステム導入後のユーザーサポートに加え、年間保守契約やテレホンサポートなど、ユーザーの満足度を第一に考えた、きめ細かなトータルサポート体制を確立しています。こうしたサービスは、当社製品の市場における優位性に繋がるだけでなく、売上にも大きく寄与しています。

当第2四半期累計期間の業績

当第2四半期累計期間のサービス部門は、奉行シリーズの保守契約料が横ばいでしたが、インストラクター指導料収入が前年同期比65百万円減少するとともに、スクール事業収入も同25百万円の減少となりました。

この結果、売上高は前年同期比2.7%減の36億86百万円となりました。

売上高推移(単位:百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期





第2四半期貸借対照表 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	第31期第2四半期末 (平成21年9月30日)	第30期末 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産	34,719,057	34,410,425
現金及び預金	31,826,286	29,309,047
受取手形	113,048	128,745
売掛金	2,245,621	4,097,840
有価証券	84	520,621
商品及び製品	105,011	87,743
仕掛品	1,256	972
原材料及び貯蔵品	63,163	67,583
前払費用	76,399	76,399
繰延税金資産	212,367	19,276
関係会社短期貸付金	100,000	100,000
未収入金	3,450	2,825
その他	3,511	7,856
貸倒引当金	△31,143	△8,487
固定資産	33,408,839	31,717,440
有形固定資産	288,921	347,596
無形固定資産	186,954	210,167
投資その他の資産	32,932,963	31,159,676
投資有価証券	29,143,833	26,530,322
関係会社株式	65,843	121,043
関係会社出資金	1,452,195	1,452,195
長期預金	1,300,000	1,300,000
敷金及び保証金	574,336	591,069
会員権	93,830	93,830
関係会社長期貸付金	84,517	84,517
破産更生債権等	11,856	15,512
繰延税金資産	307,075	1,075,367
貸倒引当金	△100,523	△104,179
資産合計	68,127,897	66,127,866

科目	第31期第2四半期末 (平成21年9月30日)	第30期末 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債	6,487,765	6,539,454
買掛金	193,685	291,617
未払金	262,401	436,976
未払費用	636,065	455,247
未払法人税等	1,337,901	520,000
未払消費税等	97,553	33,285
預り金	46,425	61,568
前受収益	3,870,820	4,704,545
役員賞与引当金	20,000	20,000
その他	22,913	16,213
固定負債	626,811	601,500
退職給付引当金	626,811	601,500
負債合計	7,114,576	7,140,955

純資産の部		
株主資本	58,601,077	57,725,918
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,949,268	18,949,268
利益剰余金	34,300,404	33,412,170
自己株式	△5,167,594	△5,154,520
評価・換算差額等	2,412,242	1,260,992
その他有価証券評価差額金	2,412,242	1,260,992
純資産合計	61,013,320	58,986,910
負債純資産合計	68,127,897	66,127,866

Point 1

Point 1 純資産

投資有価証券の評価差額金、利益剰余金の増加により、「純資産」は前期末に比べ20億26百万円増加しました。



第2四半期損益計算書(単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	前第2四半期累計期間 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)
Point 2 売上高	7,662,199	7,558,460
売上原価	1,691,634	1,264,287
売上総利益	5,970,564	6,294,173
販売費及び一般管理費	4,229,091	3,658,182
Point 3 営業利益	1,741,473	2,635,991
営業外収益	1,960,400	860,428
受取利息	17,159	6,796
有価証券利息	27,416	15,864
受取配当金	366,467	596,601
投資有価証券売却益	1,345,427	241,165
投資事業組合運用益	105,099	-
その他	98,828	-
営業外費用	-	606,546
投資有価証券売却損	-	77,375
投資事業組合運用損	-	285,059
投資有価証券評価損	-	219,981
その他	-	24,129
Point 4 経常利益	3,701,873	2,889,873
特別利益	20,050	-
固定資産売却益	694	-
貸倒引当金戻入額	19,355	-
特別損失	413,962	126,412
投資有価証券評価損	30,000	31,800
関係会社株式評価損	-	55,200
関係会社社債評価損	300,000	-
関係会社出資金評価損	83,962	-
固定資産除却損	-	2,812
役員退職慰労金	-	36,600
税引前四半期純利益	3,307,961	2,763,461
法人税等	1,369,968	1,121,524
法人税、住民税及び事業税	1,625,544	1,329,946
法人税等調整額	△255,576	△208,422
四半期純利益	1,937,993	1,641,937

Point 2 売上高

ソリューションテクノロジー(奉行シリーズ製品)の売上が順調に推移しましたが、関連製品(サプライ製品等)の売上減の影響により「売上高」は前年同期比1.4%とわずかに減少しました。

Point 3 営業利益

外注委託費および販売費等のコスト削減効果を受け、「営業利益」は前年同期比51.4%と大幅に増加しました。

Point 4 経常利益

「経常利益」は前年同期比21.9%減少しました。主な理由は投資有価証券売却益の減少によるものです。



第2四半期キャッシュ・フロー計算書(単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	前第2四半期累計期間 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	3,307,961	2,763,461
減価償却費	120,000	120,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	38,454	25,310
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,000	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,000	19,000
受取利息及び受取配当金	△411,044	△619,263
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,345,427	△163,789
投資有価証券評価損益(△は益)	30,000	251,781
関係会社株式評価損	-	55,200
関係会社社債評価損	300,000	-
関係会社出資金評価損	83,962	-
有形固定資産除却損	-	2,812
投資事業組合運用損益(△は益)	△105,099	285,059
売上債権の増減額(△は増加)	1,841,002	1,867,917
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,646	△13,132
仕入債務の増減額(△は減少)	△52,203	△97,932
未消費税等の増減額(△は減少)	△25,112	64,267
未払費用の増減額(△は減少)	△299,165	△295,741
前受収益の増減額(△は減少)	△674,654	△833,725
その他	182,775	331,745
小計	2,946,802	3,762,969
利息及び配当金の受取額	429,612	623,745
法人税等の支払額	△1,974,872	△512,045
Point 5 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,401,542	3,874,669

Point 5 営業活動によるキャッシュ・フロー

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、38億74百万円の収入となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益27億63百万円、売上債権の減少額18億67百万円等であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額5億12百万円、前受収益の減少額8億33百万円等によるものです。

科目	前第2四半期累計期間 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△4,299,144	△1,823,493
投資有価証券の売却による収入	5,331,938	747,744
関係会社貸付金の回収による収入	-	100,000
関係会社貸付けによる支出	△300,000	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△46,540	△478
有形固定資産の売却による収入	1,590	-
無形固定資産の取得による支出	△35,037	△41,057
敷金及び保証金の回収による収入	532	20,896
敷金及び保証金の差入による支出	△7,996	△4,163
Point 6 投資活動によるキャッシュ・フロー	645,342	△1,100,551
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△799,105	△753,442
自己株式の取得による支出	△560,459	△13,074
自己株式の処分による収入	24,440	-
Point 7 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,335,125	△766,517
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,280	△10,897
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	721,040	1,996,702
現金及び現金同等物の期首残高	36,076,379	29,829,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,797,419	31,826,371

Point 6 投資活動によるキャッシュ・フロー

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、11億円の支出となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出18億23百万円、投資有価証券の売却による収入7億47百万円等によるものです。

Point 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、7億66百万円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払額7億53百万円等によるものです。



1 新製品「奉行iシリーズ」を販売開始

当社は平成21年9月下旬、年商50億円までの中小企業向け基幹業務パッケージソフトウェア「奉行iシリーズ」を発売しました。

同シリーズは、お客様に費用対効果を感じていただけるよう、これまでお客様からいただいた多くのご意見やご要望を反映することで、機能性・操作性を大幅に改善した製品です。

インターネットを活用した双方向機能によってお客様とシステムの対話を実現するとともに経営に役立つ情報を抽出できる機能を強化することで、情報の価値を最大限に高め、お客様の未来を支えます。

さらに同シリーズは、マイクロソフト社の Windows 7 が求める要件を満たすと同時に、Windows Server 2008 R2 にも対応しています。

発売前後の8月から10月にかけて、北は北海道・札幌から南は九州・福岡までの全国12カ所で新製品発表会を開催し、同シリーズの開発コンセプトや販売支援体制をパートナー様に紹介させていただきました。



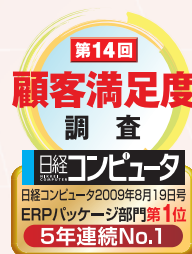
新製品発表会の様子



2 顧客満足度5年連続No.1

当社は、「日経コンピュータ顧客満足度調査(ERPパッケージ部門)」で、2005年から5年連続で1位を獲得しています。

同調査は、全国の企業や自治体などの情報システム部門を対象に実施したもので、2009年の調査で当社は、「導入や初期設定の容易さ」「機能」「信頼性」「システム構築の容易さ」「運用管理の容易さ」「価格」「問い合わせへの対応」の各項目で1位を獲得。総合満足度でも2位に7.9ポイントの大差をつけました。しっかりとしたサポート体制が評価されたものと考えており、今後もお客様のご期待に沿えるよう努めてまいります。



3 アナリストを対象に決算説明会を開催

平成21年10月28日、当社はアナリスト対象の決算説明会を都内の会場で開催し、約90名の方々に出席いただきました。

説明会の模様は当社IRサイトでご覧いただけます。是非、下記のアドレスにアクセスください。

<http://www.obc.co.jp/corporate/ir/library/breifing.html>



株式の状況

平成21年9月30日現在

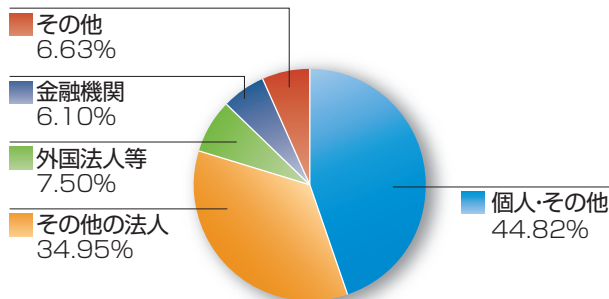
会社が発行する株式の総数	80,704,000 株
発行済株式総数	20,176,000 株
株主数	2,581 名

大株主(上位6名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社オービック	6,794	33.68
和田 成 史	5,778	28.64
和田 弘 子	1,308	6.48
シービーニューヨーク オービス エスアイシーアーヴィー	1,037	5.14
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	447	2.22
中 山 茂	222	1.10

※なお、当社は自己株式を1,337千株所有しております。

所有者別株式分布状況



企業プロフィール

平成21年9月30日現在

会社概況

商 号	株式会社オービックビジネスコンサルタント
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設 立	昭和55年12月12日
資 本 金	10,519,000 千円
従 業 員 数	654 名

役員

取締役会長	野 田 順 弘
代表取締役社長	和 田 成 史
専務取締役	和 田 弘 子
常務取締役	中 山 茂
取 締 役	渡 邊 政 美
取 締 役	大 原 泉
取 締 役	木 村 博
取 締 役	橘 昇 一
常勤監査役	黒 凶 成 一
監 査 役	高 橋 郁 雄
監 査 役	加 納 博 史

主要事業拠点

本社/東京支店	〒163-6032 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー32F
大 阪 支 店	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-6-20 パシフィックマークス西梅田4F
名 古 屋 支 店	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-16-7 NORE伏見ビル7F

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
ホームページ	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

株主様の口座がある証券会社へお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、上記の電話照会先をお願いいたします。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降に当社がお支払いする配当金について、配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することとなりました。(同封しております「配当金計算書」が「支払通知書」を兼ねております。)

なお、「支払通知書」は株主様が確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただくことができます。

弊社IRサイトのご案内



<http://www.obc.co.jp/corporate/>

弊社IRサイトにおいて、社長メッセージや投資家向けFAQ、奉行通信(旧事業報告書)のバックナンバーなど、より詳細なIR情報を開示しております。是非ご覧ください。



株式会社

オービックビジネスコンサルタント

<http://www.obc.co.jp/>